



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」
～ 認め合い・学び合い・共に育つ ～

<目指す児童像>

豊かなコミュニケーションの下で、

かしこい子(知) 明るい子(徳) たくましい子(体)

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページ <http://osato-esaitama-city.ed.jp/>

メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

令和6年11月29日 第8号

「学校の役割」

校長 新堀 崇

今年も「師走」を迎えようとしています。カレンダーも最後の一枚です。一年が何と早く過ぎてしまうことでしょうか…。晩秋から初冬を迎え天候も安定し、空気が澄んでいるので、夕方東の空に見える「木星」が何ともきれいです。日没も早くなり、今日のさいたま市の「日の入り時刻」は16時28分です。西の空には、一番星として一等星よりも明るい「金星」が輝き、その上には、時間が経つにつれて地平線にかくれてしまう、「夏の大三角」が輝いています。私は、夕焼け空も好きですが、夕日が沈んだ後、空が真っ暗になるまでの「黄昏時(たそがれどき)」が好きです。しかし、この黄昏時は、美しいことばかりではありません。警察庁・警視庁のデータによると、歩行中の事故(死傷者)は、月別では「11月から12月」が、時間帯では「17時台から18時台」の「黄昏時」が多いとのこと。そして、小学生が交通事故に遭うケースの多くは、飛び出しや信号無視、安全確認不足などが挙げられます。子ども達が交通事故に遭わないようにするためには、やはり、子ども達への教育を徹底し、道路の横断の仕方を繰り返し教えることでしょうか。さらに、黄昏時は、運転手から歩行者が見えづらくなる時間帯でもあります。車での帰宅ラッシュと同じ時間には徒歩で帰宅する人が増え、塾帰りの子ども達や部活が終わって学生が帰宅する時間です。大人も「交通ルール」の遵守と手本を示すこと、最大限の注意を払うこと、そして何より「おもいやり」の気持ちをもつことが重要だと自戒しています。

ところで、私は毎朝、大砂土小学校の3つの門をローテーションで回り、子ども達を迎えます。校長よりも大きな声でしっかり挨拶ができる子、いつも落ち着いた表情で丁寧に挨拶ができる子など、スタイルは様々ですが、時折気になるのは、表情が沈んでいるかなと感じられる子がいたときです。あれ、どうしたのだろうと心配になります。家族とけんかをしたのか、何か心配なことがあるのか…。あとで教室をさりげなくのぞき、元気な姿を見てほっとすることもあります。学校では、知識や技能、ものの考え方、安定した心の在り方などを子ども達に考えさせます。そこでは子ども達一人一人の背景を理解しながら接していかねばなりません。難しいことではありますが、学校とはそのような役割を担う場所だと考えます。学校は、子ども達が安心して本来の自分でいられる場所であり、納得して自己修正ができる環境でなければなりません。朝、たとえ塞いだ気持ちで校門を通り過ぎても、帰るときには、「今日も学校に来て楽しかった」と思ってくれたなら、学校の役割を果たしたのだと思います。学校は、子ども達の心の拠り所であって、家庭に戻った後も、「今日はこんなことがあったよ」と、学校での出来事を話してくれれば、なお嬉しいことです。

4月に着任し、これまで大砂土小学校の子ども達が、素直で、明るく、元気に過ごしていることを、子ども達はもちろんのこと、保護者の皆様、地域の皆様のおかげであると感謝の気持ちでいっぱいです。いつもご協力を賜りありがとうございます。少しばかり早いのですが、令和7年も素敵な年になりますように……。